

2023年度 北海道大学大学院  
文学院修士課程入学試験（前期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	専門試験（地域科学 ）
出題の意図	<p>問1：本設問では、社会生態学分野から2問、人文地理学分野から2問、地域社会学分野から2問を出題する。本設問では、各分野の基礎概念を用いて専門的な議論を行う能力や、専門的な知識を現実問題に応用する能力を見る。</p> <p>問2：本設問では、社会生態学、人文地理学、地域社会学、およびその近接分野で用いられている専門用語の理解度を見る。さらに、指定された文字数でそれらの意味を専門的な見地から明確に説明する能力を見る。</p>

2023年度  
北海道大学大学院文學院修士課程入学試験問題（前期）  
（専門試験） 地域科学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 4枚を配付する。

問1は、小問1問につき解答用紙1枚を使用すること。問2は、小問5問で解答用紙2枚を使用すること。なお、選択した小問の番号を解答用紙に記すこと。また、各問では図を用いて説明を行ってもよい。

問1 下記の設問から2つを選択し、解答せよ。

1. 環境保全を行う際に多様なステークホルダー（利害関係者）が参加する必要があるのはなぜか、そのときの困難は何か、さらに、そうした困難を克服するために何が必要かについて論述せよ。
2. 環境被害（自然環境や生活環境の破壊がもたらす被害）を明らかにしたい。そのための方法のひとつに、ライフストーリー調査とアンケート調査がある。両者にはそれぞれどのような利点と欠点があるか、論述せよ。
3. 日本海溝・千島海溝周辺型地震と南海トラフ地震に関し、市町村レベルで津波避難に関する防災研究を行う場合、研究方法にどのような異なる視点を設ける必要があるか論じよ。
4. 農業経営における起業家精神（entrepreneurship）と場所との関わりについて、イノベーションとネットワークに注目して説明せよ。
5. 「動物の福祉（animal welfare）」と「動物の権利（animal rights）」の考え方の相違について説明せよ。
6. 野生生物保全における human dimensions 研究の意義について、具体例を示して説明せよ。

問2 次の用語から5つを選択し、専門的な見地からそれぞれ200字程度で説明せよ。

- |                              |   |
|------------------------------|---|
| 1. 気候正義                      | 9. ネオ内発的発展論（neo-endogenous development）   |
| 2. 集合的記憶                     | 10. 社会連帯経済（social and solidarity economy） |
| 3. 弱い紐帯の強み（Mark Granovetter） | 11. 生物群集                                  |
| 4. 資源動員論                     | 12. コリドー（回廊）                              |
| 5. 公共性                       | 13. 進化的安定戦略（ESS）                          |
| 6. 離島                        | 14. 景観生態学                                 |
| 7. テレワーク                     | 15. フラッグシップ種                              |
| 8. 地震防災対策特別措置法               |   |